





1

登壇者 

- 株式会社セイリョウライン 代表取締役社長 幣旗貴行 氏
- 鈴与カーゴネット株式会社 常務取締役 澤入哲雄 氏
- 一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 小島 薫



2

2

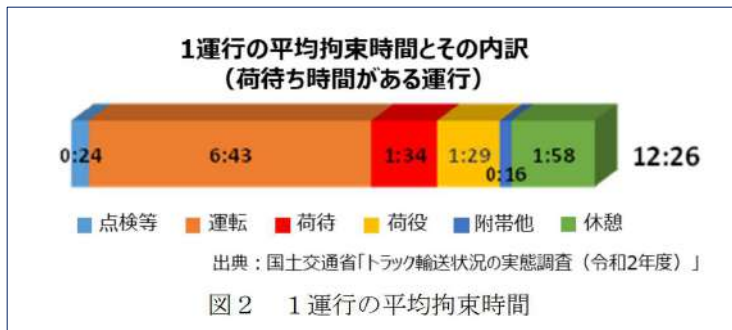
物流の2024年問題



■ 物流の2024年問題

トラックドライバーを含む自動車運転の業務等での時間外労働時間が臨時的な特別の事情があって労使が合意する場合（特別条項）で、年960時間以内に制限

■ 長時間労働の背景



出典：持続可能な物流の実現に向けた検討会「持続可能な物流の実現に向けた検討会 最終取りまとめ」（2023年8月31日）p.5からの抜粋

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sustainable_logistics/pdf/20230831_1.pdf



3

3

物流革新に向けた政策パッケージ～法制化



■ 物流の革新に向けた政策パッケージ

（1）商慣行の見直し

① 荷主・物流事業者間における物流負荷の軽減（荷待ち、荷役時間の削減等）に向けた規制的措置等の導入
時間の把握と、短縮（2時間以内、更に1時間以内に）

■ 改正物流効率化法（2024年5月15日公布）

貨物の受渡しを行う日及び時刻又は時間帯を決定（第一種荷主）、運転者に指示（第二種荷主）するに当たっては、停留場所の数その他の条件により定まる荷役をすることができる車両台数を上回り一時に多数の貨物自動車が集貨又は配達を行うべき場所に到着しないようにすること。



4

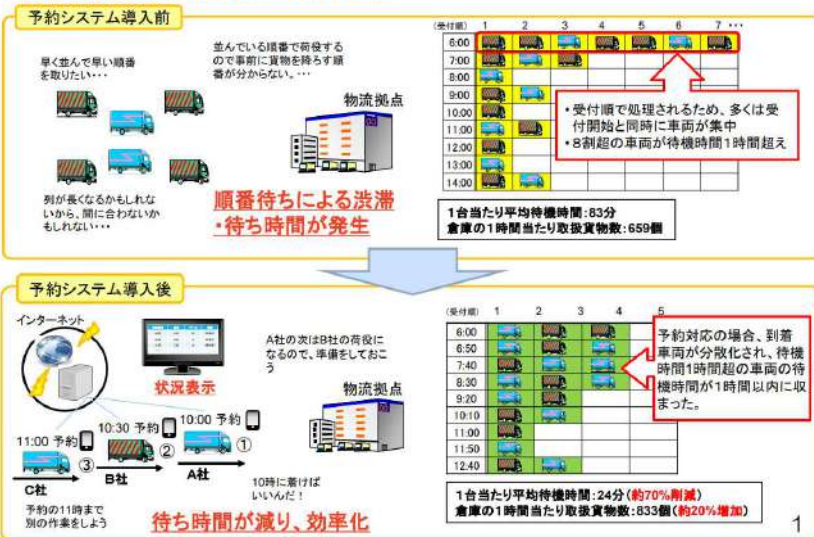
4

バス予約受付システムの事例

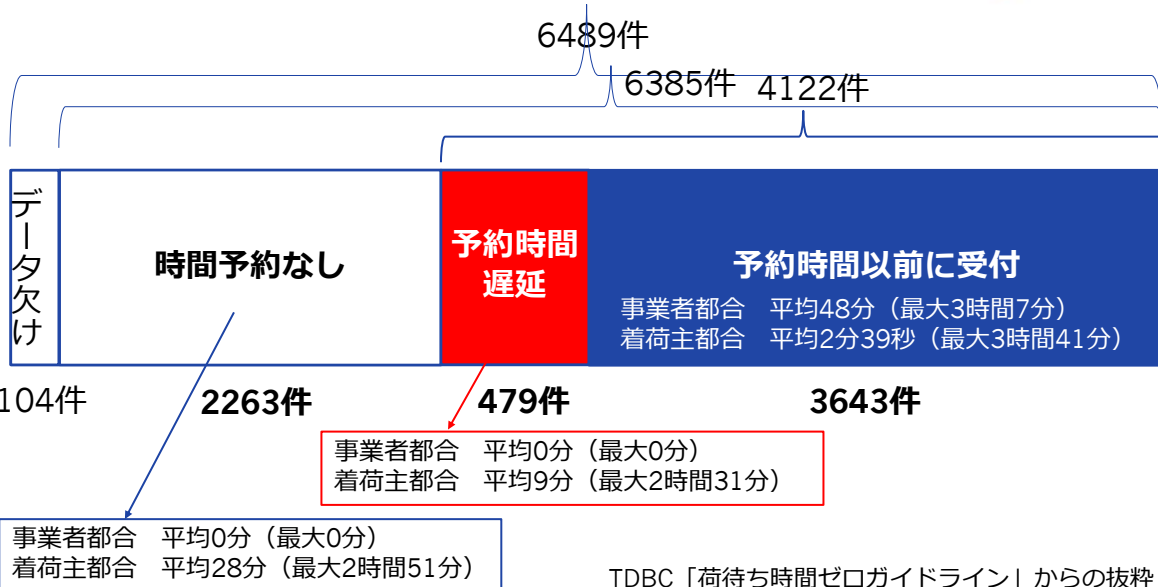


国土交通省
 「トラック予約受付システム」の導入事例
<https://www.mlit.go.jp/common/001182131.pdf>

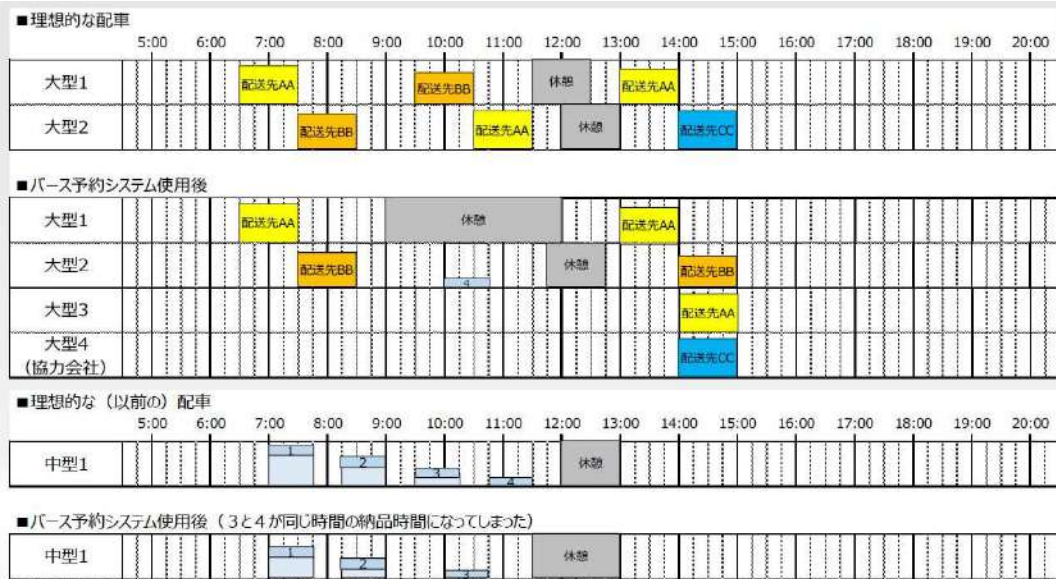
A社によるトラック予約受付システムの取組



バス予約受付システムデータ分析 (7~9月)



バス予約システム導入での課題 (副作用)



TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」からの抜粋

バス予約受付システムの導入効果を最大化するためには TDBC

仕様3 | システム実態調査 | さらなる普及・浸透に向けた課題 | バス予約受付システム

バス予約受付システムの導入効果を最大化するためには、
 ①システム導入後の目標像の設定 ②運用方法に関する関係者間の協議が前提となる

バス予約受付システムの効果を最大化するための前提

これらを実施した上で導入した事例も多く見られる

① システム導入後の目標像の設定

- バス予約受付システムは、物流効率化に資する「ツール」であり、「導入するだけで、必ず成果があらわれる」わけではない
- ありたい姿を事前検討の段階で明確にし、その実現のために用いられることが期待される
- 荷待ち時間の現状が可視化されていない場合、まずは現状を可視化することが望ましい
 ✓ 例：バスを予約制にすべきか判断すべく、まずは受付システムのみ導入し、荷待ち時間を可視化することも考えられる

② 運用方法に関する関係者間の協議

- バス予約受付システムの導入・運用にあたっては、各拠点の实情に合わせた運用が必要
 ✓ 例：パレット〇〇枚あたり■■分の、標準的な荷役時間の設定 (その設定のためのデータ整理が導入前に必要であり、データが無い場合は、まずはそのデータの取得・整理が必要と考えられる)
- 導入する拠点 (倉庫) のみの都合を考慮したルール設定は、物流事業者の疲弊を引き起こし、導入による荷待ち時間削減を狙ったはずが、物流事業者から敬遠される結果を招きかねない
- よって、導入前も導入後の運用段階でも、導入効果を最大化するために、**導入拠点の責任者と物流事業者が十分に対話し、運用ルールを絶えず見直すことが必要**
 ✓ 荷受人の都合に加え、物流事業者の意見も把握した上で見直す必要がある
 ✓ また、運用ルールの更新は荷受人やシステムベンダーが協力し、周知することが期待される
- なお、導入前から続いていた課題が、システム導入によって顕在化・悪化した例も見られる
 ※ 既存の課題が、わかりやすく形で可視化された (新たに引き起こされたわけではない) 例もある
 例：荷变量に対してバス数が不足
 ⇒ 従来は長時間の荷待ち時間が発生していたが、導入により、そもそも予約が確保できなくなった
 ※ フォークリフトオペレーターの増員やバス追加等、バス予約受付システムの導入以外が最適な解決策、というケースも存在する。真の課題はなにか、バス予約受付システムが最適な課題解決の手段か、という点を十分に検証する必要がある

Copyright (C) Namura Research Institute, Ltd. All rights reserved. NRI 93

出典：国土交通省「物流標準化の現状把握調査・事業者連携による実証事業報告書」より抜粋

<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/content/001615133.pdf>

バース予約システム導入での課題



- 荷待ち時間削減の効果（でも、予約のための荷待ちも）
 - 混載、共同輸送、店舗配送などの複数力所での荷卸し
（効率化、法令順守を前提とした配車、経路計画）
 - バース予約、特にアンサーバックでの工数発生
（アンサーバックは工数が倍以上、再配車、増便も）
-
- キャパシティマネジメント
 - 発荷主事業者から着荷主事業者への連携



9

9

TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」（全52頁） TDBC


1. 物流の2024年問題と物流関連2法改正の経緯
2. 荷待ち時間の削減、まずは現状把握から
3. バース予約システムの概要と活用事例
4. バース予約システムの運用等で、事業者側で発生するさまざまな課題と解決策
5. バース予約システム導入検討にあたりぜひ活用して欲しい資料
「物流標準化の現状把握調査・事業者連携による実証事業報告書」
6. バース予約システムの導入等のプロセスや導入評価方法について
7. バース予約システム以外での解決方法
8. TDBCとしてのバース予約システムに対する考え方
9. 荷待ち時間ゼロに貢献するDXソリューション例
- 10.最後に



10

10

TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」



TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」draft_20240705

TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」

バース予約システム導入効果の最大化等により荷待ち時間をゼロに
(Draft_20240705 版)

一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

Copyright (C) 2024 General Incorporated Association
Transportation Digital Business Conference. All Rights Reserved.
8 / 32

TDBC「荷待ち時間ゼロガイドライン」draft_20240705

【目次】

TDBCの概要と「荷待ち時間ゼロガイドライン」について	p.3
1. 物流の2024年課題と物流関連2法改正の経緯	p.3
(1) 物流の2024年課題とは、	p.3
(2) 物流革新に向けた政策パッケージ	p.7
(3) 物流関連2法の改正	p.10
(4) 改正物流2法での荷待ち時間等に関する努力義務等	p.12
(5) 解雇等に関する努力義務	p.12
(6) トラックGメンによる悪質な荷主・元運事業者等の是正勧告	p.12
(7) 新たなトラックの標準的価値の告示	p.13
(8) 荷待ち時間と事業者都合停機、荷主都合停機の定義	p.16
2. 荷待ち時間の削減、まずは現状把握から	
(1) 荷主事業者側の荷待ち時間等の把握状況	p.20
(2) 事業者側での荷待ち時間等の把握と削減の取り組み	p.21
3. バース予約システムの概要と活用事例	
(1) 改正物流2法とバース予約システム	p.25
(2) バース予約システム活用事例	p.26
4. バース予約システムの活用等で、事業者側で発生するさまざまな課題と解決策	
(1) 希望する時間での予約が取れない	p.30
(2) バース予約時間予約制とした場合、積換、搬送による効率化の発生	p.30
(3) バース予約システムの適用上の課題	p.32
(4) バース予約システムでの予約作業の工数発生やアンダーバード方式による見直し工数削減等の発生	p.32
5. バース予約システム導入検討にあたりぜひ活用してほしい役割	p.34
6. バース予約システムの導入等のプロセスや導入課題方法について	p.36
7. バース予約システム以外の解決方法	p.38
8. TDBCとしてのバース予約システムに対する考え方	p.39
9. 荷待ち時間ゼロに貢献するD3ソリューション例	p.41
10. 最後に	p.46
お問い合わせ先一覧	p.48
今回のガイドライン作成で協力いただきました企業等	p.51

Copyright (C) 2024 General Incorporated Association
Transportation Digital Business Conference. All Rights Reserved.
9 / 32

協議会スポンサー








一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>
 E-mail unyu.co@wingarc.com
 TEL 03-5962-7370





